

# みはら情景 わがしの思い出

鷺浦町



はしけ(小舟)を使っていた頃の港のようす



埋め立ててつくられた現在の佐木港

海の恵みを感じる島



白須 俊三さん  
(鷺浦町)

「島がにぎわう、トライアスロンはこれからも続いてほしいです」

「山の頂上まで登ると、瀬戸内海に浮かぶ島々が見えて、天に昇ったような気持ちになったものです」と佐木島で生まれ育った白須俊三さんは、子どもの頃の思い出を話します。島では、いたるところで泳ぐことができませんでした。魚釣り、タコ釣り、貝掘りなどをしながら、朝から晩まで砂浜で遊んだことも。夏は、藻取りが行われていました。藻は、浜辺や道路、学校の校庭など、あちらこちらで干され、麦わらと混ぜて堆肥にしています。また、その堆肥には、土壌の浸食を防ぐ効果もあったといいます。

現在の佐木港がある場所は、もともとは海で、20メートルほどの石組みの防波堤があり、その先に小さなはしけ(小舟)が泊めてありました。客船が入ると、はしけをこいで、沖に停泊している客船にむかい、客の送り迎えをしていました。港から近いところには、塩田があり、周辺のようにすも今とはずいぶんちがっていました。

「季節ごととれる、海藻や魚などを干して、一年中食べられる保存食にするなど、自然の産物をいかす知恵を、子どもたちにも伝えたい。海に囲まれている、郷土の良さを知ってほしいですね」と語ってくれました。

### 税の納期

市県民税普通徴収(2期)  
国民健康保険税(2期)  
介護保険料普通徴収(2期)

納期限 8月31日(水)

税金・保険料は納期限までに納めましょう。



### 特別弔慰金の申請受け付け

戦没者などの死亡当時の遺族で、今年4月1日において年金給付を受ける権利を有する遺族がいない場合に、先順位の遺族一人に支給されます。

支給内容 額面40万円、10年償還の記名国債

請求期間 平成20年3月31日まで

問い合わせ先 社会福祉課  
(☎0848⑦6060)  
本郷支所住民生活課(☎0848⑧1114)、久井支所住民生活課(☎0847③7114)、大和支所住民生活課(☎0847③0222)

### 三原市の人口

(6月30日現在)

世帯数	42,747世帯(+217)
人口	105,727人(-423)
男	50,599人(-154)
女	55,128人(-269)

( )内は前年同月、合併前の総数との比較



### あ・と・が・き

夏 本番。街角には絶え間なく降り注ぐ紫外線。何もしていないでも、すぐに日に焼けてしまいます。しかし、黒い服を着て外出すると白い服を着ているときにくらべて、紫外線の量を大幅に減らすことができ、日焼けしづらくなるみたくです。日焼けの弊害「しみ・そばかす・シワ」などさまざまです。なんでも、肌の老化原因の一番が、紫外線(日焼け)によるものだとか。やっぱり肌を守らなきゃいけないですね。その反面、「夏はやっぱり小麦色の肌が魅力的」なんてことも聞かれます。老若男女を問わず、日焼け防止に悪戦苦闘する。こんがり小麦色に日焼けする。さて皆さんはどう思いますか?

(お)

資源保護のため「広報みはら」は再生紙および大豆インクを使用しています。